【幹事】中山　仁史



この一年は新たな事業が多く、私にとっても挑戦の日々でしたが、皆様の支えなしにはどれひとつとして成し遂げることはできませんでした。山形県酒田市を訪問し、姉妹クラブである酒田ロータリークラブ、鹿児島ロータリークラブの皆様との交流を図ったことは、私にとって最も感慨深い事業となりました。

特に、見延会員、廣瀬会員とご一緒させていただき、多くの時間を共に過ごす中で、ロータリーとしての学びを深め、懇親をさらに強固なものにすることができたことは素晴らしい経験でした。

また、お二人にはこの酒田訪問の時に限らず、この１年間を通じて最も多くの電話やメールをいただき、幹事としてのクラブ運営について常に貴重なアドバイスを頂戴いたしました。

ピンチの時にいつでも的確なアドバイスをくださった福島会員、斎藤仁会員、本当にありがとうございました。また、山村理事をはじめとする各理事、委員長の皆様におかれましても、それぞれの立場からクラブ運営を力強く支えていただきました。

そして、一番近くで支えてくれた同級生の佐藤雅之会計、石川副会長の存在は、何よりも心強いものでした。

最後に、常に新たなことへチャレンジし続け、クラブを力強く牽引された佐藤友美会長の年度において、幹事という大役を務めさせていただけたことを、大きな感謝とともに深く誇りに思います。

【副会長】石川　稔



一年間、副会長を務めさせていただきました石川でございます。思い返しますと約二年前、佐藤会長より「副会長を受けてほしい」とお電話をいただきました。当時の私は、例会への出席率がほぼ０％という状況で本当に例会に出席できておりませんでした。そのような私でよいのかと佐藤会長にお話ししたところ「とにかく例会に来て、座ってくれるだけでいい」とおっしゃっていただきました。

その温かいお言葉に甘え、副会長をお引き受けいたしましたが、結果として、その言葉のとおり、座っているだけの副会長で終わってしまったようにも感じております。

それでも、この一年間は例会にもできる限り出席させていただきました。例会場の出席者が少ない日には、かつて自分自身が０％出席者であったにもかかわらず、その人数の少なさに寂しさを感じることもございました。一方で、毎回の例会に欠かさず出席されている皆様には、本当にありがたい気持ちで見ておりました。

至らぬ副会長ではございましたが、中山幹事をはじめ、会員の皆様に佐藤会長を支えていただいた一年であったと感じております。

一年間、本当にありがとうございました。

【会長】佐藤　友美



一年間、会長職を務めさせていただき、誠にありがとうございました。この一年を無事に終えることができましたのは、中山幹事をはじめ、役員、各委員会、そして会員の皆様の温かいご支援とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

今年度は、早朝例会でのラジオ体操や東京クラブへの訪問、ＰＭＦをはじめとする青少年事業など、新たな取り組みにも積極的に挑戦することができました。特に、林会員の青少年奉仕へのご尽力により、小樽学びコンソーシアムとの新たなつながりも生まれ、今後の活動につながる大きな成果となりました。

また、地区新旧会長幹事会での井手会長の「今年は楽しくやろうね」という言葉を聞き、今年度の三役、四役の皆様には多くのご苦労をおかけしたことをあらためて実感いたしました。

一年間、支えてくださったすべての皆様に、心より御礼申し上げます。

まごころ箱・・・・・いつも有難うございます！

佐藤（友）　会員…アッセンブリーありがとうございました。台湾国際大会、地区ナイト無事に終了いたしました。皆様に心より感謝申し上げます。

桂　　会員…無事に台北で行われた国際大会に参加しました。佐藤友美会長はじめ、参加された皆様お疲れ様でした。

山　下　会員…無事、理事・委員長を退任いたしました。１年間ご支援、ご協力ありがとうございました。

斎　田　会員…台北の国際大会に行ってまいりました。佐藤会長、中山幹事、斎藤会員、他設営スタッフの皆さんの努力のおかげで「北海道ナイト」も盛り上がりの中無事終了することが出来ました。設営スタッフの皆様本当にご苦労様でした。

山　下　会員…会員結婚祝

廣　部　会員…会員結婚祝

三　栖　会員…会員結婚祝

広　瀬　会員…佐藤年度最後の協力金です

入金集計額 令和 7.7.1 ～令和 8.6.19（84,000 円）　**合計 781,700 円**

国際ロータリー第２５１０地区日本　The Rotary Club of Otaru South. District No.2510

小樽南ロータリークラブ会報

よいことのために手を取りあおう

Rotary

2025-2026年度ＲＩ第２５１０地区目標

1.会員増強　5.女性会員増強
2.クラブ活性化　6.会員研修充実
3.奉仕活動推進　7.紛争予防と平和推進
4.若い世代とのつながり強化　8.ロータリー財団活動強化

My Rotary
2510地区ホームページ
ＩＣＴ委員会Ｆacebook
各委員会へのメール

2025−2026年度 地区活動方針
Revival（リバイバル）
〜原点に立ち返り、未来への繁栄へ〜

１９６０年創立
昭和３５年２月５日
２０２６年６月２６日発行
通巻第３１３２号
35

今週　６月２６日
●期末懇親会
（場所：朝里クラッセホテル　点鐘：18 時〜）

来週　７月３日
●四役方針発表

再来週　７月１０日
●ガバナー補佐、小樽ＲＣ会長・幹事訪問
●クラブフォーラム

●例会場：オーセントホテル小樽　●例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
●事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL0134-27-8123
●Club Homepage：URL https://rid2510.org/otarushouth/

■クラブアッセンブリー

■ロータリーソング【日も星も風も】

■会長挨拶【佐藤友美会長】



先週金曜日から月曜日まで台湾で開催された国際大会に参加してまいりました。今年度は松浦パストガバナーが地区の国際大会推進委員長を務めておられますが、今回は残念ながらご参加がかなわず、副実行委員長である斎藤仁会員を中心に７名で参加いたしました。

帰国後、多くの方から「台湾はどうでしたか」と声をかけていただきましたが、私の中では担当クラブとして開催する地区ナイトを無事に終えることで頭がいっぱいでした。おかげさまで大きなトラブルもなく開催することができ安堵しております。

大会会場には「友愛の広場」という場所があり、私が一人で軽食を取っていた際、同じテーブルにタイの女性会員と神戸の女性会員の方がいらっしゃいました。私は英語が得意ではありませんが、女性同士またロータリアン同士ということもあり、自然と気持ちが通じ合うような時間を過ごすことができました。その中でタイには女性会員が半数以上を占めるクラブもあるというお話を伺い、大変印象に残っております。

来年の国際大会はスペイン・バルセロナで開催されます。距離もあり参加が難しい方もいらっしゃるかと思いますが国際ロータリーにはカメラ、釣り、オートバイなど趣味や関心を通じて世界のロータリアンとつながる親睦グループがあります。今回の大会でも各グループがブースを設け積極的に交流の輪を広げていました。

１８０の国と地域から多くの参加者が集い、大変盛大に開催された国際大会に参加し、改めて国際ロータリーの広がりを実感いたしました。まずは無事に参加し帰国いたしましたことをご報告申し上げます。

本日はアッセンブリーとなっておりますので皆様のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

■幹事報告

①次週例会について６月２６日は期末例会として懇親会を開催いたします。点鐘は１８時、会場はクラッセホテルとなっております。

②本日の例会はクラブアッセンブリーとなっております。各担当理事ならびに委員長の皆様にはこの後ご発表をお願いいたします。

■出席委員会

２０２６年6月１９日

総会員数５１名　　欠席者数１４名

工藤、斎藤（英）、佐藤（公）、佐藤（勉）、田中（彰）、田中（沙）、吹田、松尾、松浦、宮川、湊、水谷、盛、山田

■ゴルフ同好会　例会報告



６月２０日好天の中、本年度第２回目のゴルフ同好会のコンペが開催されました。

前回に続き、ケガや都合が合わず、参加人数は７名と寂しい状況ではありましたが、準会員の平田氏（余市ＲＣ）、本間宮司（潮見ケ岡神社）の参加を頂き楽しい時間を過ごすことが出来ました。結果は前回ブービーメーカーの山村会員が優勝されました。また今回ベストスコアの荒田会員が次回よりキャプテンとして、活躍されることが発表となりました。次回７月１１日になります。年に一度のジンギスカン大会の予定です。

例会プログラム
クラブアッセンブリー

【クラブ奉仕委員会】担当理事
【クラブ活性化委員会】委員長　山村　弘一



ロータリーでは、公共イメージの向上において最も重要なものは、クラブの活性化と会員増強であるとされています。当クラブ奉仕委員会では、家庭集会を積極的に開催し、そこで出された要望等を理事会へつなげていくという趣旨のもと、予定していた業務をしっかりと終えることができました。

また、会長の強い思いにより創立されたクラブ活性委員会は、５名のメンバーで５つの目標を設定し、活動を開始いたしました。そのうちの一つである新会員向けの教育セミナーにつきましては、２回開催し、いずれも盛況のうちに終了いたしました。そのほかの目標につきましても、おおむね達成できたものと考えております。

一年間にわたり、会員各位より多大なるご支援とご協力を賜りましたことに、心より敬意と感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

【例会運営委員会】委員長　荒田　純司



例会運営委員会では、例会プログラムを担当しました。小樽市長迫俊哉様を皮切りに、多彩な分野でご活躍される皆様を卓話講師としてお迎えし、会員の皆様に多くの学びと気づきをお届けすることができました。講師の選定にあたりましては、小笠原副委員長に格別のご尽力を賜りました。

また、まごころ箱につきましても、会員の皆様の温かいご理解とご協力に支えられ、滞りなく務めることができました。一年間ありがとうございました。

【会員親睦委員会】
副委員長　前川　勝美　中井　健太郎（代理）



今期は佐藤会長のもと、田中会員を委員長として、新入会員のサポートや会員強化を目指し、新会員が参加しやすい夜間例会などを実施してまいりました。

また、年末家族懇親会をはじめ、会員親睦を深めるための工夫を重ねてまいりました。夜間例会では会員施設を活用し、日頃の例会ではなかなか味わうことのできない雰囲気の中で、会員相互の親睦を図ることができたものと感じております。

途中、田中委員長の退会もございましたが、残された委員で力を合わせ、期末懇親会を広瀬会員、山田副委員長とともに盛り上げてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【広報・情報委員会】
委員長　湊　亨　伊早坂　拓歩（代理）



【今年度の総括：ロータリーの精神を広報する】

本年度、広報情報委員会は「小樽南ロータリークラブの活動と、ロータリーが地域社会にもたらす多大な貢献をより深く発信していく」という使命のもと、期初に掲げた活動方針をすべて滞りなく実施いたしました。

1. デジタル化の推進と連携の強化

円滑な会報作成とウェブサイト更新のため、引き続き株式会社Ｋ２様との緊密な連携を維持・強化いたしました。

2. 委員会内の連携

伊早坂副委員長、水谷副委員長との強固な連携体制のもと、写真撮影・管理体制の強化を図りました。

3. 絶え間ない改善への探求

会員の皆様からの貴重なご意見やアドバイスに真摯に耳を傾け、日々の発信に反映させました。会員の皆様との対話を通じることで、小樽南ロータリークラブの広報活動をさらに一歩発展・定着させる基盤を築くことができました。

結びにかえて

今年度は掲げた 3 つの方針を軸に、すべての業務を遅滞なく、かつ効率的に実施することができました。クラブの皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

【奉仕委員会】担当理事　福島　正紘

ロータリー活動における五大奉仕のうち、クラブ奉仕を除く職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の四大奉仕活動は対外的な活動を行っております。

今期佐藤会長のもと、各奉仕委員会においては各委員長をはじめ委員会の皆様が、年間活動目標に従いこの１年間活動してこられたものと思います。その過程の中でいろいろな気づきがロータリーを理解する一助になるものと思っております。この１年間大変ご苦労様でした。

【職業奉仕委員会】委員長　山下　秀治



職業奉仕委員会でございます。去年の９月１２日だったと思います。早朝例会を開催して、入船町にある天上寺さんの広場を借りてラジオ体操をやって、その後、昼食の卓話をいただいて、本当に清々しい天気の中、気持ちも良く最高に終わらせていただきました。　その後は職業奉仕委員会として私が卓話をさせていただいたことがございます。以上です。ありがとうございました。

【社会奉仕委員会】委員長　田中　沙貴

今期当委員会では「地域社会の貢献と、誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、交通安全の啓発活動を軸に活動を展開しました。期間中２回、７月１１日と４月１３日、各４名ずつ合計８人の会員とともに小樽の玄関口である小樽駅前交差点にて通行するドライバーや歩行者の皆様に交通安全を呼びかけ、地域の安全意識向上に努めました。それぞれの活動日において多忙の折にもかかわらず、早朝より参加していただいた会員の皆様には心より感謝申し上げます。

【国際奉仕委員会】委員長　拝田　昇



今年度３つ計画をさせていただきました。まずは米山記念奨学会への寄付募集、２つ目が小樽商科大学への寄付、こちらは留学生支援のための寄付でございます。３つ目が小樽商科大学国際交流サークルとの交流事業、イベント実施や夜間例会招待などでございました。

ご報告です。１つ目の米山記念奨学会への寄付ですが、今年度も皆様のご協力により寄付金を昨年１２月下旬に無事送金できました。ご協力ありがとうございました。

２つ目の小樽商科大学への留学生支援寄付金ですが、こちらも５月に送金完了しております。

３つ目の小樽商科大学国際交流サークルとの交流事業は残念ながら実施できておりません。次期も私が国際奉仕委員長を務めますので、こちらは次期への持ち越しとさせていただきたいと思っております。１年間ありがとうございました。

【青少年奉仕委員会】委員長　林　正章



佐藤会長は、青少年奉仕活動の充実を今期の目標の一つとしておりました。今期は、例年の活動である高等学校優秀卒業生の表彰、ポエムコンクールの共催、ブックスタートへの協賛等を継続し、当クラブの広報につながるように活動いたしました。また、高校生を例会に招き、ランチ会も開催いたしました。

会員皆様のご協力により、今期も充実した青少年奉仕活動を行うことができました。ありがとうございました。

【ロータリー財団委員会】委員長　鈴木　崇史



本年度のロータリー財団委員会は、次の３点を目標に掲げ、具体的な取組みを進めました。

①財団への寄付を募ること。

②ポリオ撲滅の寄付活動を行うこと。

③財団の活動への理解を深める例会を企画すること。

具体的な取組みは以下の通りです。

①今年３月から４月にかけて、年次基金とポリオプラス基金への寄付を依頼し、３２名の方から総額３８４,０００円を寄付して頂き、５月中に全額をロータリー財団へ寄付致しました。寄付のご協力を頂いた皆様に心から感謝申し上げます。年次基金への寄付は、１人当たり１万円の寄付を頂くことを基本といたしまして、３２名の方から、合計３２０,０００円の寄付を頂ました。

ポリオプラス基金への寄付は、１人当たり２千円の寄付を頂くことを基本といたしまして、合計６４ ,０００円の寄付を頂きました。

②昨年１０月２４日の世界ポリオデーに併せて、小樽・小樽南・小樽銭函の３クラブ合同で、１０月２４日、ウイングベイ小樽においてポリオ撲滅を支援するための啓発・募金活動を実施しました。

③昨年１１月１４日の当クラブの例会におきまして、財団の歴史、使命、重点分野、寄付金の種類・使われ方等の具体的な内容をテーマに地区ロータリー財団長石丸修太郎委員長を迎え、卓話を頂きました。

１年間、財団の取組へのご理解ご協力を頂きまして大変ありがとうございました。

【SAA】委員長　斎藤　仁



今期ＳＡＡは太田副ＳＡＡと共に、全例会の進行を努めさせていただきました。

通常ＳＡＡは座席、食事の管理も行いますが、今期はその部分を三役が担っていただいた事で、少し楽な一年となりました。

【会計】佐藤　雅之



皆さまこんにちは。会計より上期及び下期の中間報告を申し上げます。

７月から１２月までの収支ですが、収入は １５,４８７,８２４円、支出は ９,８０５,４８４円で、差し引き　５,５５４,８４０円の残金となっております。

元々、５０万円の赤字予算を組んでおりましたが、皆様のご協力により、おおむね予算に沿って進んでおります。

主な支出は、例会費と奉仕活動費が中心で、下期は、期末懇親会、会議費伴う支出が増える見込みですが、計画の範囲内、５０万円の赤字予算で対応できる見通しです。

引き続き適正な運営に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



会　員　結　婚　祝

三栖　裕司 会員　山下　秀治 会員　小笠原俊介 会員

廣部　隆夫 会員　湊　　亨 会員

おめでとうございます

The Rotary Club of Otaru South.District No.2510